

何やあ、そんなのあかへんわあ

あの頃のことを思い出す。

それにしても、あの頃の小学校六年の女は、ませていた。

僕ら男の子は、その点、にぶかった。

あれは、もう小学校最後の修学旅行だった。
その後、僕は勉強し出したのだ。

中学の入学試験に合格して、
僕はうれしかった。

ある日、休み時間に、教室で、
窓の外を眺めながら、ぼっとしていた。

その時、クラスの女の子が一人、近づいて来た。
いつも、静かな目立たない子だった。

僕のそばに立ち、じっと、黙って僕を見る。
僕が気が付き、振り向くと、

「ねえ、うちらと一緒に、カラ中に行こう。」
と、静かに、悲しそうにその子はつぶやいた。

僕は、「そんな事、でけへん。」と言った。
すると、その子は、窓の外を見ながら泣き出した。

僕は、その子がかawaiiそうになったが、
どうしたらいいのかわからなかった。
僕もそのまま、窓の外を眺めていた。